



時事評論家 増田俊男

「時事直言」のご愛読、心から感謝致します。

光陰矢の如し、2014年も半年が過ぎ、また協賛金お願いの時になりました。

ご協力下さる読者の皆様に感謝の気持ちを込めて「緊急レポート：どうなる世界の政治・経済？」を贈呈させていただきます。ご希望の方は**7月22日**までにお手続きをお願い致します。

本年に入りアメリカ経済の成長率は下がっているのに NY 株価が高値更新を続けているのは何故でしょう。

また NY 金も 1,300 ドル台を回復しましたが、このまま上昇は続くのでしょうか。

FRB（連邦準備理事会）は GDP（国内総生産）比 25%（約 400 兆円）という史上最大の金融緩和をしましたが、市場原理に従えばドル価と購買力低下で物価と金利が上昇するのに物価は低迷、低金利が維持されています。FRB が連続的国債購入で国債利回りを下げ、政策金利をゼロ（0.25 - 0%）に誘導しているからです。こうした人工的金融市場操作はアメリカが建国以来誇って来た「市場の自由」冒涇したことになります。

歴史は我々に市場の自由が失われた時は必ず「市場の反乱」が起きることを教えています。

2008年9月のリーマン・ショック前の6月、当時財務長官、元ゴールドマン・サックス会長のヘンリー・ポールソン氏は NYSE（ニューヨーク証券取引所）に各界の超大物約 30 名（内一人は私の友人）を集め、「Freddie Mac と Fannie Mae（二大住宅金融公庫）が財務危機に瀕しているので準備するように」と伝えました。30 名と関係筋はすべての金融資産を売却、またヘッジファンドの大物たちはポジションを一転して売りに切り替えました。その直後ポールソン財務長官は「住宅金融公庫 2 社の財務状況は全くもって問題なし」と議会証言しましたが、それからわずか 2 か月後（9 月）2 社は財務破綻に追い込まれ、辛くも国民の税金で救済されたのでした。今月（7 月）バーナンキ元 FRB 議長召集（2 度目）で同じ 30 名が NY で集まります。私はその会議情報の入手後中国の友人（要人 Q 氏）と連絡を取り合うことになっています。

氏は本年私のアドバイスで 2014 年 4 月 24 日に予定されていた中国人民銀行の金保有高発表を中止させたと考えられている人物です。

自由を奪われた市場の反乱、着々と進む NY 市場大暴落の進捗状況、米中政治の裏舞台、2019 年まで続く中東内乱とウクライナを発端にユーラシア諸国に広がる内戦、緊張高まるアジアの領海、世界に地政学的緊張と混乱を仕掛けたのは誰か、等々「見えない世界」を一刀両断します。世界の要人たちと皆様の代表として立派に渡り合えるようになったのもひとえに皆様のおかげです。深く感謝しています。

※お名前、ご住所等は**明確**にご記入ください。

※ご協力金**受付期間**は、**7月22日(月)**までとなります。

<「時事直言」協力金申込記入欄>

お名前

ご住所 〒

TEL FAX

申込み口数 口 【1 口 ¥3,000・（複数口歓迎）】

<協力金振込先>

三菱東京 UFJ 銀行 池袋西口支店 普通 3964107 カ)マスダトシオジムシ

※お手続きは申込書の送信、お振込みをもって完了となります。

また、「緊急レポート」と毎月発行の小冊子は別の商品となります。

FAX 送信先:03-3955-6466